



はちろうがた

2008年7月 96号

議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会 〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80
TEL 018-875-5810

水質改善策を国・県選出国會議員に要望



▲
環境省水・大気環境局水環境課
課長補佐渡辺さん・内村さん
に要望書を渡す



国会議事堂前にて



▲ 要望書を提出して
田村環境事務次官と会談

環境省
事務次官室
官房長室
審議官室

- ◆ 2～3ページ …………… 一般質問
- ◆ 3～4ページ …… 広域組合議会報告
- ◆ 4～5ページ …………… 委員会審議
- ◆ 5ページ …… 八郎湖水質改善策の要望
- ◆ 6ページ …………… 請願・陳情

一般質問



三戸 留吉 議員

選挙の平日投票について

問 今、地方自治体の財政難から、全国的に、平日投票が叫ばれており、県内では、小坂町が実施し、経費が150万円程、浮いたと新聞報道されております。そこで我が町でも、今年度、すでに計画された農業委員の選挙と町長と、議会の選挙が予定されております。最近は期日前投票率も増えていることから平日投票でも、投票率は下がらないと思います。ただ平日

の場合、窓口業務の支障が考えられますが我が町の面積から見ると、投票所の数を3ヶ所位にしても他町村と比べて不便はないと思います。そうすれば窓口業務に支障がないと思いますが、町長の考

まちづくり人材育成基金条例制定後の今日迄の状況とふるさと納税のPRについて

問 ふるさと納税を先取りした様なかたちで昨年12月議会で町づくり人材育成基金条例を制定しましたが、PR不足だと思えます。そこで今日迄の基金の状況をお知らせ願います。また5月からスタートしたふるさと納税について活用メニューを設けるのか、PRについては、関東ふるさと会のような組織のあるものは別として組織のない、他の

答 おっしゃる通り県内では小坂町が実施し、経費が浮いたと聞いております。選挙は選挙管理委員会が決めるもので今月中旬小坂町に行つて平日投票の意見交換を行い、その後選管で慎重に審議をして決定するものと思

えを。
地域の方へのPR方法、また寄付金額に応じ、特産品や記念品の贈呈、または広報の無料発送など、なにか考えておるのか。

答 基金については3月議会で予算化しており今後広報7月号で、周知を計り、一般会計に繰り入れをする、また、ふるさと納税については、八郎潟町ががんばるさと条例を制定し、ホームページで事業の内容等、周知し県で行う県外事務所に寄付をしたいと思われる様なリーフレットを配布し一人でも多くの寄付者の呼びかけに努力致します。



金 一義 議員

2期8年の土橋町政について

問 これまで、町長は町の財政政策を根本的に変革したと言っています。実質公債比率や、福祉、教育、産業振興の取り組みは、また行革による、町の人材である職員を効率的に活用してきたのか、疑問が残ります。町が永続的に発展する為にもしっかりととした財政基盤が必要なことは当然です。町政は町民のより良い生活の為に全力を挙げるところであり、無駄なところは当然削減すべきと考えます。町長の公約でありました、農業政策、商業工業の振興をどのようにとらえてきたのか、また

少子高齢化の問題の取り組みは、このように町長自身この8年間を振り返ってみて、地域のニーズに合った行政サービスを迅速、効果的に住民に提供してきたのか今の心構えは。

自分を支えて下さった町民に感謝したい。また職員

子供の健全育成について

問 子供はその家庭の宝であると同時に、次代の社会を担う一員としての宝であります。では、子供が家庭と社会の両面で大事に育成されているかという点、表面的には大事にされている、つまり過保護の状況にあるのが実態ではないでしょうか。そのために本質的な中身においては大事にされていないという言い方もできるのではないかと。いろいろな問題が家庭の責任だ、学校の責任だ、との責任追及論だけで解決できません。いままた子供の通う学校の情報などをネッ

答 今期限りで町長の職を辞退したい。今までの

トに書き込む「学校裏サイト」が問題になっていきます。その実態は他人を中傷する、いじめの温床になっていく。このようなプログラムの現実を現場である教師の認識は、また対策はどのようにしているか。

答 過保護な家庭が増えている。学校の場合は子供がインターネットに書き込みの出来ないようになっていく。またPTA時に各家庭に注意を喚起している。学校、家庭の連携、地域の協力を得ながら、体験学習や道徳教育、健全教育を指導している。



近藤美喜雄 議員

ふるさと納税制度と問われる自治体の姿勢

とを想う志を頂くにこしたことはありません。このため自治体間の暗黙の競い合いが始まっています。本町のこの制度に対する考え方、そのPR方法はどのようなのか。

【答】 このたびの、「八郎潟町がんばれふるさと基金条例」制定後、ホームページでその内容、寄付金の活用方法及びその申込手続きなどについて周知を図りたい。

【問】 ふるさと納税制度が誕生した真のネライは都市と地方の格差是正論から生まれました。しかし、地方税の大原則は「応益の原則」にあり、無制限に、今住んでいる自治体から、税を寄付のかたちで、他の自治体に移動させることは出来ません。個人住民税の一割までとして歯止めがかかる制度となりました。

このため、識者の中にはあまり多くを期待できないと評する声が多いようです。しかし、ふるさと

町長の今後の町政に対する所感について

【問】 12年9月24日に土橋町長が誕生し、この9月23日をもって二期8年間に亘る節目を迎えることになり、私なりに、8年間に亘る町政を概括的に振り返るならば、次のような歩みがあったものと想われます。八中武道館建設、外国人英語指導助手招置、シルバー人材センター誕生、乳幼児医療無料化、湖東三町合併協設立と解散、町道中央線竣工、湖東三町商工会発足、町自立計画策定、第五次基本構想策定、町誕生50周年記念式典、秋田わか杉国体開催（その他具体的事業は省略）そして町営墓地造成事業及び上水道高度浄水処理施設事業着手など。

【問】 12年9月24日に土橋町長が誕生し、この9月23日をもって二期8年間

に亘る節目を迎えることになり、私なりに、8年間に亘る町政を概括的に振り返るならば、次のような歩みがあったものと想われます。八中武道館建設、外国人英語指導助手招置、シルバー人材センター誕生、乳幼児医療無料化、湖東三町合併協設立と解散、町道中央線竣工、湖東三町商工会発足、町自立計画策定、第五次基本構想策定、町誕生50周年記念式典、秋田わか杉国体開催（その他具体的事業は省略）そして町営墓地造成事業及び上水道高度浄水処理施設事業着手など。

【答】 この8年間、いろいろな事業を実施してきたが、職員の努力によるところが大きい。今後の問題は、財政面である。自主財源が27%、他は国、県への依存にある。16年度以降をみると3億3千万円程、歳入が不足になっている。また、一番残念に思っていることは合併の破たん問題であった。しかし、自立を決めたからには計画にそって町政を進めていかなければならない。一番喜ばしいことは、琴丘町との境界問題が解決したこと、国体の開催などであった。悔いなく感謝の気持ち一杯である。

【問】 12年9月24日に土橋町長が誕生し、この9月23日をもって二期8年間

【問】 12年9月24日に土橋町長が誕生し、この9月23日をもって二期8年間

は、およそ想像がつきません。

【問】 12年9月24日に土橋町長が誕生し、この9月23日をもって二期8年間

【問】 12年9月24日に土橋町長が誕生し、この9月23日をもって二期8年間

【問】 12年9月24日に土橋町長が誕生し、この9月23日をもって二期8年間

広域組合議会報告

八郎潟町・井川町 衛生処理施設組合



伊藤 秋雄

平成20年度の歳入・歳出予算の総額は6千803万4千円で前年度比0.2%の減額。歳入の内訳は八郎潟町2千403万1千円、井川町2千77万5千円で人口割80%、平等割20%、使用料263万9千円、繰越金等10万5千円。歳出の内訳は総務費2千84万6千円、公債費3千806万4千円となつている。施設の使用開始から11年を経過、両町の下水道整備事業が進む中、平成19年度のし尿及び浄化槽汚泥の搬入量は2千4tで、平成18年度と比較して28%の減少、開始当初の平成9年度4千451tと比較すると2千449t、55%の減となり、半分以上の搬入量となる。施設の使用料金を平成20年4月1日より1t当たり70銭から1円50銭に、また一般家庭の汲み取り料金も1t当たり7円から10円に改定している。今後も施設維持の観点から、し尿の搬入量の推移を見て段階的に改定する必要がある。また処理方法については、現状処理又は公共下水道への希釈処理を考えている。希釈後の公共下水道への投入については、今後、県との協議が必要になると思われる。償還は平成23年までとなっている。



八郎湖周辺清掃組合



佐藤 長

00円、テスコ(株)秋田営業所「東京都」1億7,337万6千円、運転業務委託業者に男鹿清掃興業(株)に決定し現在に至っております。
平成18年度一般会計の当初予算額は、歳入歳出それぞれ8億7,890万円、その後の補正予算により、1,080万円を追加して、最終予算額は8億8,970万円となり、決算額では、国からの交付金の年度間調整に伴う翌年度繰越額が、2億6,974万4,003円になったことから、歳入総額6億2,472万406円、歳出総額6億1,850万5,020円となり、歳入歳出差引残額では621万5,386円となった。

昨年6月に畠山議員より、ごみ処理施設建設工事について進捗状況等について報告がありました。関係市町村の協力により平成20年3月28日に竣工式典が行われ、現在稼働中であります。

ごみ処理施設業務委託については次のとおりであり男鹿清掃興業(株)「男鹿市」1億3,721万3千577円、三機化工建設(株)「神奈川県大和市」1億4,712万8千7

湖東地区行政一部組合



近藤美喜雄

歳出の主なもの
職員人件費
4億8千173万2千円
(全体の82・2%)
災害対応化学消防ポンプ車
4千406万円
(全体の7・5%)

本町の議員

佐藤長(20・3・25議長就任)
斉藤徹郎、近藤美喜雄、三戸留吉(団長)

消防組織広域化の動き
県内を7ブロックに再編する案が進められています。この再編計画では、湖東、男鹿、五城目の3消防本部が21年4月を目処に統合される運びとなります。

予算(20年度)

歳入、歳出総額
5億8千605万9千円
(前年比6・9%増)
歳入の主なもの
構成市町負担金
5億3千755万5千円
(前年比0・49%減)
国庫補助金
1千368万3千円

	火災	救急	斎場使用	動物戸使用
潟上市昭和	6	247	101	26
潟上市飯田川	1	141	53	18
井川町	1	187	96	15
八郎潟町	3	201	84	26

※化学消防ポンプ車整備指針に基づき、老朽化の著しいポンプ車にかえて1台設置した。水冷4サイクルディーゼルエンジン、4輪駆動車、泡消火薬液槽搭載、火災における泡の消火効率は80%以上。(水ポンプ車の8倍)

各常任委員会の審議

総務教育 常任委員会

問 教育長が公民館長を兼務しているが、両長としての職務に支障等はないものか。

答 (野村教育長) 兼務をして2ヶ月経ちますが、会議や行事が重なって公民館事業に出席できないこともあり、やはり専任者がいれば助かります。

問 役場庁舎の耐震調査はしたか。又、中国の地震をきっかけに、学校等の耐震化への補助率が嵩上げされるようであり、避難場にもなっていると思うので、計画的に進めなければならぬのではないか。

答 今のところ、配属先は考えていません。自立計画の中で、平成22年度まで60人体制となり、退職者、年齢構成等を考慮しての採用をしていきたいと思えます。

問 町長の行政報告の中で、包括支援センター職員1名を含み、来年度は4名の職員採用を予定しているとおったが、3名の一般職をどこに配置するか等の計画的な採用なのか。

答 又、一般行政職3名採用の、試験区分は、

問 試験区分については、上級一般事務職2名、初級1名で県町村会に申し込みしています。結果は5

段階ランクでほとんどが一番良いランクとなっております。しかしながら、建物自体かなり老朽化してきていますので、耐震補強あるいは建替なども検討しなければならなくなっております。

問 試験区分については、上級一般事務職2名、初級1名で県町村会に申し込みしています。

水質改善策を国・県選出国會議員に要望

去る、6月23日、第20回関東ふるさと会出席の後、土橋町長、小柳議長、小野副議長他六議員をもって、農林水産省・環境省・県選出国會議員に対し、『八郎湖の水質改善対策の実施に関する要望書』を提出し、水質悪化の現状と、アオコ遡上による上水道断水に至った経緯を説明し、八郎湖の水質改善の早期実現と、本町上水道対策に対する助成の要請活動を行った。

八郎湖の水質改善対策の実施に関する要望書

秋田県の八郎潟は滋賀県の琵琶湖に次ぐ日本第二の広さを誇る湖で、県の沿岸中央部に位置した汽水湖として、極めて透明度の高い魚介類が数多く生息する自然の豊かな湖でありました。

国は戦後の食糧不足を解消するために昭和32年3月、国策事業として「八郎潟干拓国営事業」に着手。20年間の歳月をかけた世紀の干拓事業は昭和52年に完成しました。その後、様々な課題を抱えて今日に至っております。

特に、干拓事業により淡水化された承水路や調整池（残存湖）に流域河川から生活・農業排水が流入して、窒素・リンの滞積によって富栄養化が顕在化しております。こ

のような状況が10年ぐら以前から続き、植物性プランクトンが八郎湖内に大量に繁殖、アオコが発生する様になりました。本町の給水人口は現在7,000人、浄水場は八郎湖に注ぐ二級河川馬場目川河口の約三キロメートル上流にあり、その位置から取水し、町民の飲料水としております。

高温で雨量の少ない天候の夏季はアオコの発生が著しく、特に、平成11年、同18年、19年はアオコによって断水を余儀なくされました。例年、川を遡上するアオコに備え、その対策費として多額の費用を投じている状況であります。

現下の財政逼迫の中、八郎湖水質汚濁に伴う対策は本町にとって喫緊の課題であり、定住促進はもとより町民の生存権も脅かされる状態であります。国策により干拓された八郎湖、年々水質汚濁が進む八郎湖、悪化の進行状況は目を覆うばかりです。このことから本町のみならず八郎湖周辺の自治体において、一日も早い水質の浄化対策を望んでおります。

国では干拓当初、当地地の自然環境を把握し、計画遂行後の環境影響評価を行っていきはるはずですが、現在このように水質悪化した状況をどのように把握・認識しているのでしょうか。湖沼法に基づき、平成19年12月11日、八郎湖が指定されたことについて、歓迎しております。しかしながら、八郎潟町民にとっては息の長い浄化対策運動と並行して、喫緊の課題としての対策を講ずる必要があります。閉

鎖された八郎湖の水質を早急に改善するためには国の大英断による具体的な取り組みと支援が必要と考えています。

依って、国において次の事項について、是非、実現されるよう強く要望致します。なにぶんご賢察の上、ご検討下さいませすようお願い申し上げます。

1. 八郎湖の承水路、調整池の汚泥の浚渫事業の
2. 八郎湖に対する新たな導水計画の実施
3. アオコ発生に抑制効果のある海水導入・防潮水門の高度管理による湖内の流動化促進
4. 八郎湖の水質の悪化に伴うアオコ対策に要する自治体に対する災害並みの財政支援の実施

(1) 飲料水の高度浄水処理事業及びランニングコストに対する支援

(2) 調整池からのアオコの遡上を防ぐ特製オイルフェンスの設置支援

民生産業 常任委員会

防災行政無線個別受信機外部アンテナ

新たに設置したデジタル防災行政無線の個別受信機は緊急時の対応に備え、町内会長、自主防災組合長などの関係者、135人程に町が設置している。このたび三倉鼻地区でどうしても個別受信機で受信できない家庭があり、外部受信アンテナを設置する予算が計上された。

これに関連し、委員の中から設置当初、各地で受信不能の声が聞かれたが、その後、総て改善されたのかとの確認があつたが、設置された全家庭の調査はしていないとの説明があつた。委員からは早急な調査と受信出来ない家庭に対する改善対策を急ぐよう強く要請があつた。

施設の修繕料

町内各施設の修繕料が一斉に計上された。予算の大小は別として、各施設の修繕を要する状況は、すでに把握されていたと思われる。本来であれば当初予算で対応すべきものであると考えられる。

一日市盆踊り補助金の追加

一日市盆踊りを盛りあげ、町内外からの観客を

増やすため、今年には本番の盆踊り開始前に、特別にイベントを実施することになっている。1日目は子供願人踊り公演。2日目はサンバパレード、3日目はよさこいソーランが企画されている。これらのイベント招致費用40万円が追加されたものであります。盛会ならんことを期待したい。

た。補正予算上程の際、一言あつてもよかつたのではないかとの見方が多かつた。

八郎潟町長 土橋多喜夫
八郎潟町議会議員 小柳 勉

■ 請願・陳情

請願・陳情等の件名	請願・陳情者氏名	審査委員会	本会議結果
名古屋高裁の「空自イラク派兵は違憲」判決を尊重し「自衛隊をイラクから直ちに撤退させる意見書」の採択について(陳情)	秋田県平和委員会 理事長 風 間 幸 蔵	総務教育	採 択
八郎湖水質汚濁問題に関する要望書	美しい八郎湖を目指す会 顧問 中 田 潤 美しい八郎湖を目指す会 副代表 安 田 貞 則	民生産業	採 択
国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める陳情書	秋田県「森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会」 会長 津 谷 永 光	民生産業	採 択
過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書	合資会社 緑源 社長 諸 百合子	民生産業	不採択
1区町内公園の美化について	1区町内 小野 貴幸 他3名	民生産業	採 択



議会のうごき

4月

- 4月6日 消防団春の駆付け訓練
- 7日 10:00八郎潟小学校入学式
14:00八郎潟中学校入学式
- 8日 10:00八郎潟幼稚園入園式
- 14日 五城目町正・副議長新任あいさつに来庁
- 18日 例月出納検査
- 22日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会臨時総会
於 五城目町
- 24日 議会全員協議会
- 25日 戦没者追悼式

5月

- 1日 八郎潟町・五城目町下水道協定の打合せ
- 8日 町村議会事務局長・担当職員合同会議
於 市町村会館
- 12日 県町村議会議長会臨時総会 於 市町村会館
- 16日 例月出納検査
- 19日 湖東総合病院改築促進協議会
於 湖東総合病院

5月

- 20~21日 町村議会正副議長研修会
於 東京メルパルクホール
- 23日 議会運営委員会 第4回臨時会
- 29日 議会運営委員会・議会広報編集委員会

6月

- 1日 八郎湖クリーンアップ大作戦 町民体育祭
- 3~4日 6月定例会
- 12日 議会広報編集委員会
- 14日 全国植樹祭レセプション 於 北秋田市
- 15日 全国植樹祭 於 北秋田市
- 19日 議会広報編集委員会
- 20日 例月出納検査
- 22日 関東地区ふるさと会20周年記念大会
- 23日 農水省・環境省・県選出国會議員へ要望
- 26日 議会広報編集委員会
- 27日 八郎湖周辺清掃事務組合議会
- 29日 消防団小型ポンプ操法競技会・規律訓練大会

6月3日は、本町にとって重要な日であったとの思いをかみしめている。

土橋町長が三期目の出馬の意志のないことを表明したためである。このため、にわかにかのポスト町長候補者は誰かと、ちまたの話題が熱をおびてきた。なんの選挙でも近くなると、話題にこと欠くことはなく、真実ある話、無い話で盛りあがる。人をお互いに中傷することだけは、お互い気をつけたいものである。

ただ、その人がその任にふさわしいのかどうかの洗礼を受けているとの受けとめ方もあるのかもしれない。昔から「やりたい人よりも、やらせたい人」という言葉があるが、考えてみれば、これが、最も大事にしなければならない選挙民の基本なのかもしれない。特に我々議員の行動、言動は影響が大きいと思われるので、出来るだけ慎重にありべきだと思えます。

意欲のある人には、この町をどのようにしていきたいのか、今後おおいに夢を語ってもらいたいと考えているこの頃である…。

(近藤)

編集後記

6月3日は、本町にとって重要な日であったとの思いをかみしめている。